

# 教室エアコン設置が実現!!



2・3月議会報告

- 新年度で実現!**
- 校舎等の大規模改造 (15校)
  - スクールソーシャルワーカー 倍増 (12人→24人)
  - 特別支援教育支援員の増員 (150人→170人)
  - 公園再整備 (19か所)
  - 千早駅前の公共施設・市民センター・音楽演劇練習場
  - ノンステップバス (4台→96台分)
  - 那珂川・樋井川の床上浸水対策 特別緊急事業 (護岸など) が完了
  - 高齢者などにおむつ用ごみ袋配布

**日本共産党**  
福岡市議団

## 一気に全校へ設置せよ

福岡市は市立小中学校のすべての普通教室にエアコンを設置することを決めました。長年の日本共産党の論戦と市民の運動が実を結んだものです。

2月議会でまず15校分(香住丘・香椎浜・和白・東住吉・草ヶ江・平尾・高宮・野多目・玉川・鳥飼・別府・高取・大原・城原・吉岐東の各小学校)の補正予算を計上するとともに、新年度、事業手法を調査・検討するとしています。



**中山市議が代表質問**  
**高島市政と対決**  
**予算組み替えを提案**  
**開発優先やめ、くらし応援を**

日本共産党の中山いくみ市議は3月4日代表質問に立ち、高島市長の姿勢を追及。安倍内閣の暴走から市民のくらしを守る市政の役割を強調しました。

### 人工島などムダな開発やめよ

市長は、新年度108億円を投じる人工島事業予算をはじめ、「アジアのリーダー都市」などと言って、九大学研都市構想、五ヶ山ダム建設、都心部・ウォーターフロント再整備など大型開発を推進。中山市議は「こうした開発優先路線はきっぱり改めるべき」と迫りました。

### 市民犠牲の「行革」撤回を

他方で市長は市民犠牲の「行革」を推進。市立幼稚園の全廃や市民センターなど公共施設の高齢者減免の廃止、九州交響楽団への補助金カットなど113項目に及ぶ「行財政改革プラン」を市長が策定し、新年度も公立保育所民営化などを強行しようとしていることを指摘し、「プラン」の撤回を求めました。

### 市民への公約を裏切るな

中山市議は、市長が国民健康保険料引き下げや子どもの医療費助成充実など公約を反故にしている問題を追及。ムダな大型開発予算を削除し、暮らし・福祉を応援する市民本位の予算へ抜本的に組み替えるとともに、市民所得をふやし、地場中小振興をすすめる地域循環型の経済対策への転換を求めました。

# えっ!! 生活保護世帯の生活ぶりを密告する ホットラインを福岡市が開設



## 高齢者の見守り問題など 町内会長へのアンケート

日本共産党市議団は、市内の町内会長にアンケートを送付。市長が出した「地域コミュニティとの共働のあり方・最適化」検討案で、高齢者の見守りなどを自治協議会に押しつける案についての意見などを尋ねました。

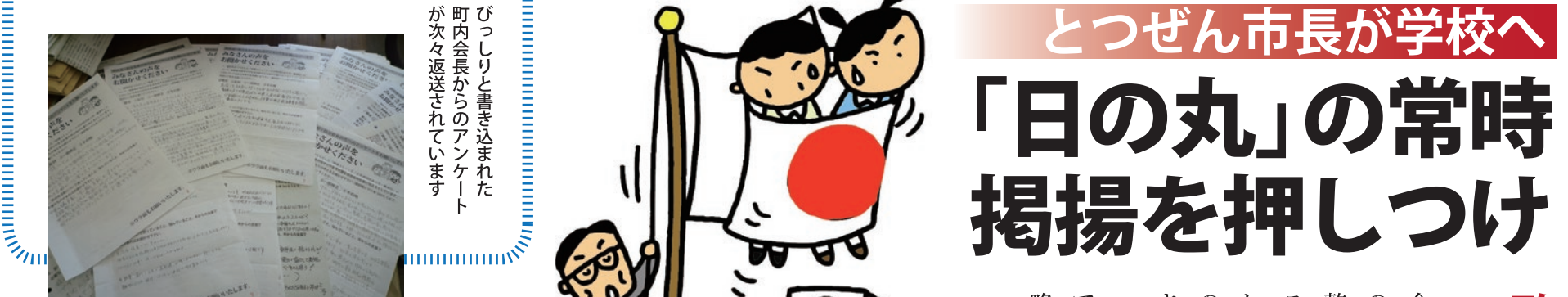
アンケートには、「きれいごとを並べて行政が仕事を押し付けようとしている」「なぜこのような改正案が提案されたのか理解に苦しむ」など手厳しい声が次々寄せられています。共同募金会の補助金交付先を社会福祉協議会から自治協に切り替えるという案にいたっては、共同募金会の福岡市支会からきっぱりと拒否される事態になっています。

中山いくみ市議は予算議会できりあげ、アンケート結果をしめして、検討案の撤回を要求しましたが、市長は拒否しました。

## 質問にいかし、市長ただす

中山市議が「生活保護世帯がお酒を飲むことは禁止なのか」「タクシーに乗る、立派な服を着る、外食をする、こんなことも通報対象なのか」とたずねると保健福祉局長は「アルコールは禁止ではない」「市民のいろんな疑問にこたえる」などと答えました。

中山市議は、「そもそもそれが生活保護世帯か」と守秘義務が課せられていてわからないはず。想像や予断にもとづく情報を集めるのに公金を使うのは許せない」と指摘。「こんなやり方は相互監視体制であり、明らかに人権侵害だ」と厳しく批判すると、市長は「人権侵害とは考えていない」と言い放ち、傍聴席からどよめきが起きました。



びっしりと書き込まれた町内会長からのアンケートが次々返送されています

## とつぜん市長が学校へ「日の丸」の常時掲揚を押しつけ

高島市長は、予算議になった歴史を紹介し、会のさなか、市立学校「日の丸」掲揚台の整備予算をつけていくことを突如打ち出した。これは、予算上からぬ抵抗があることをつけつけた。常時掲揚となれば子どもにも地域の人々にも常時押しつけられることになり、内心の自由をふみにじる強制になるのではないかと追及。国旗国歌法制定時の「国民には強制しない」とした国会答弁にも反することを突きつけ、やめるよう求めました。

教育長は「子どもたちが国旗に慣れ親しむものであり、強制ではない」「設置は校長の判断」とごまかしの答弁をしました。

## 障害者の介助切り捨て問題

福岡市は介護保険ではサービスが足りない65歳(特定疾病がある人は40歳)以上の障害者に、障害福祉サービスを上乗せする場合、対象を原則的に要介護5のみに限っています。

星野市議は、補足質疑でこの問題をとりあげ、間もなく65歳になるAさんと特定障害者になるBさんについて、保健福祉局長は、4月から国が障害福祉サービス支給の判断基準を変えることをふまえ、市として障害福祉サービスを上乗せする「基準の見直しを検討する」と答弁しました。



**星野市議が追及**

## 「基準見直し検討」答弁

福岡市は介護保険ではサービスが足りない65歳(特定疾病がある人は40歳)以上の障害者に、障害福祉サービスを上乗せする場合、対象を原則的に要介護5のみに限っています。

星野市議は、補足質疑でこの問題をとりあげ、間もなく65歳になるAさんと特定障害者になるBさんについて、保健福祉局長は、4月から国が障害福祉サービス支給の判断基準を変えることをふまえ、市として障害福祉サービスを上乗せする「基準の見直しを検討する」と答弁しました。



# 中小企業を元気にする3つの提案

大企業の呼び込みに終始する高島市政。日本共産党市議団は、市民の所得を向上させ、地場の中小企業を活性化させる地域循環型の経済政策を主張しています。この問題で、熊谷敦子市議が、3月議会の補足質疑で3つの提案をしました。



3月6日市議会で質問する熊谷市議

## 日本共産党 福岡市議団

**提案1** 市発注の工事など 適正な労賃を 公契約条例

公契約条例は、行政がおこなう工事や業務委託で働いている労働者に適正な賃金を支払うためのもです。全国の自治体で広がり、政令市でも相模原市や川崎市で制定されています。

**下請労働者の実態が調査できたら**

熊谷市議は「生活関連公共工事推進連絡会議」の報告書を示し、引き上げられたはずの設計労務単価が福岡市の公共工事では現場の下請労働者には反映されていない事実をつきつけました。また、最低賃金法との関係で公契約条例の問題があるのか

ように市が述べていることについて、熊谷市議は、麻生首相（当時）の国会答弁書を示し、「問題ない」と発言していることを指摘しました。さらに、「零細経営を圧迫する」と市が述べていることについても、公契約条例を導入した直方市の審議会では賃金が一定化しすぎると経営者が集まってくると経営者を含めて歓迎されていることを明らかにしました。

### 区窓口の派遣社員 月手取り9万円

また、熊谷市議は、福岡市の区役所の窓口業務で働く派遣

# 中小企業



## 提案2 木質バイオマス 薪・チップ 市の施設へ導入を

熊谷市議は、木質のチップやペレット、薪などの木質バイオマスの活用について質問。森林組合での聞き取りをもとに、木質バイオマスの活用で間伐材の需要を高めることによって、雇用を

灯油から木質バイオマスにかえると…

輸入した石油原料の灯油を購入するのではなく、市内の木材を燃料にすれば、地域にお金落ちるだけでなく、伐採・製造・運搬・販売の雇用もふえ、地球温暖化ガスも減ります。

法については「調査・検討していく」と答えました。

## 宮本市議が条例予算特別委員会で質問

### 破綻した事業 見直せ

# 人工島「中核拠点」が 銭湯と調剤薬局!?



追及する宮本市議（3月19日）

宮本市議は、人工島まちづくりエリアの「センター」地区に新たに温泉施設などを誘致する件について質問。もともと市などは「東アジアなど広域から人が集まる…人工島における中核拠点の形成を図る」と大型商業施設の誘致を想定して大風呂敷を広げていましたが、結局実際にできる施設は「スーパー銭湯」と「調剤薬局」だけということが明らかに。宮本市議が「東アジアから風呂に入っ

て、薬を買いにくるのか」とたずねると、傍聴席から失笑が漏れました。宮本市議は計画の破綻を指摘し、「ムダな人工島事業の推進は抜本的に改めるべきだ」と迫りました。

## 「子ども医療費助成」 市長 “公約ではない” !?

「中学3年まで医療費無料に」共産党が要求

宮本市議は、高島市長が3年前の市長選の際、新聞で「子ども医療費助成の充実」を公約した問題をとりあげ、福岡市が政令市で最低水準にあることを示して、公約の実現を迫りました。ところが市長は「私の公約は平成22年10月25日の会見で発表したもの」だけだとして新聞への回答は公約ではないという無責任な答弁をくり返しました。宮本市議は「新聞への回答は公約でなく実現する責任はない」というのでは、政治家・市長たる資格はない」と厳しく批判し、無料化の拡充を要求しました。

## 解雇規制の緩和やめよ 国家戦略特区

### カジノ合法化 ゆるぎれない

高島市長は「グローバルスタートアップ国家戦略特区」を提案。安倍政権は福岡市を指定しました。宮本市議は3月議会でこの問題をとりあげ、外国人の在留資格要件を緩和し、劣悪な条件での外国人労働力の利用に道を開こうとしていること、解雇規制を緩和し、事前型の金銭解決制度を持ちこんで「ブラック企業」を合法化するものであること、博多湾に寄港するクルーズ船内でのカジノを合法化することなどを明らかにし、撤回せよと迫りました。

## 提案3 住宅リフォーム 助成制度を

熊谷市議は、多くの地方自治体が実施している住宅リフォーム助成制度の導入も要求しました。同制度は、住宅改善とともにばつぐんの経済波及効果が明確になっています。福岡県内24市町村、全国6県556市区町村と広がり、政令市では相模原市でも実施されています。ところが、高島市長は導入を拒否しました。

## 議会すぼんと

2・3月議会での日本共産党の質問や最近の活動をお知らせします。

### 中央保育園の移転は安全が確保されていない



渋滞し自動車がいっぱいの中央保育園前の一方通行道路

中山市議は、中央保育園の移転問題を条例予算特別委員会で質問。もし西隣りで火災が発生した場合、せまい道路に消防車が集結し、避難は不可能ではないかと追及。「6人乗りのベビーカーを押して130〜300人の子どもが警固公園などに避難できるのか」とただすと、市は「十分確保できる」と強弁しました。

### 「待機児ゼロ」宣伝の陰で… 市長の異常な手法を追及

4月に「福岡市の待機児がゼロになった」と市長が宣伝しています。しかし、およそそんな実態にないことを3月議会で中山いきみ市議が追及していました。市長が定員をこえてギリギリまで押し込んだため、保育園のホールや園庭がつぶされて、保護者の間にも戸惑いが広がっている実態を指摘しました。さらに、保育園に入れない1〜2歳児を幼稚園に押しつけ、それでも入れない子どもたちに対し、「入所調整」などと呼称して、帳面上の「待機児童」を消そうとしている異常な手法も暴露。他方で、保育所の新設は新年度わずか2カ所2億円で抑えられており、真に待機児を解消する対策への転換を求めました。

### まっぼっくり保育園存続を

星野美恵子市議は、九州大学箱崎キャンパス内にある認可保育園「まっぼっくり保育園」の存続問題を質問しました。園の父母はもとより地元からも存続要望が出ていると指摘し、さらに同地域の保育需要が高いことが質問で明らかになりました。星野市議は、園存続の立場で市に九大・園と話し合うよう求めました。市長は「園と九大との協議を見守り、助言をする」と答弁しました。

### 過大規模校の解消を

星野市議は、子どもが1000人、30クラスをこえる過大規模校の解消についても質問。一部校区ではマンシオン開発が集中し、児童生徒数が急増して過大規模校が問題となってきました。市教育委員会が対策をとっていないのは学校保健安全法の趣旨に反するとして、早急に分離・新設にとりくむよう求めるとともに、マンシオン建設の規制を提案しました。

## 予算議会レポート

### 主な議案への賛否

会派名	日本共産党	自由民主党	公明党	民主市民クラブ	みらい福岡	市民市政クラブ	維新無所属の会
主な議案賛成=○ 反対=●							
一般会計当初予算	●	○	○	○	○	○	○
上下水道会計予算(消費増税の転嫁)	●	○	○	○	○	○	○
地下鉄会計予算(消費増税の転嫁)	●	○	○	○	○	○	○
ホームレス等の空き缶持ち去り規制	●	○	○	○	○	○	○
市立保育所民営化	●	○	○	○	○	○	○

※日本共産党は予算議会でも市長提案の70件の議案のうち30件に賛成、40件に反対(賛成率42%)。人事議案はのぞく。

### 提出された請願

件名	請願者
民間の学童保育所への補助金について	社会福祉法人やまばと会こぼと学童クラブ保護者会 1094人
特定秘密保護法の廃止を求める意見書議決について	「特定秘密保護法」を廃止する会・福岡
人工島関連予算案の否決について	博多湾会議
福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例案の一部修正について	個人
保険薬局への無料定額診療事業に関する意見書議決及び保険薬局での窓口負担助成制度の創設について	個人
非核平和都市宣言について	個人ほか 1620人
高齢者乗車券の利用拡大について	西区社会保障をよくする会 1265人
保育・子育て支援施策の充実について	福岡県保育園団体連絡会 16882人

### 提出された意見書案

- は共産党立案、○はその他、特に記述がなければ全会一致で可決)
- スポーツ振興に関する意見書
- 食の安全・安心の確立を求める意見書
- 労働者保護ルールに関する法改正の反対等を求める意見書(否決。賛成=共産、民主、市民、維新。反対=自民、公明、みらい)